

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	平和事業の推進					款 03	項 01	目 01	事業 012	整理番号	061
現担当課名	区民生活部管理課					係名	連絡先 電話番号		昨年度 整理番号	062	
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化共生・国内外交流の推進					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度	実行計画事業	分野	08	施策	27	計画事業	04			
令和6年度 担当課名	区民生活部管理課					事業評価区分	一般				

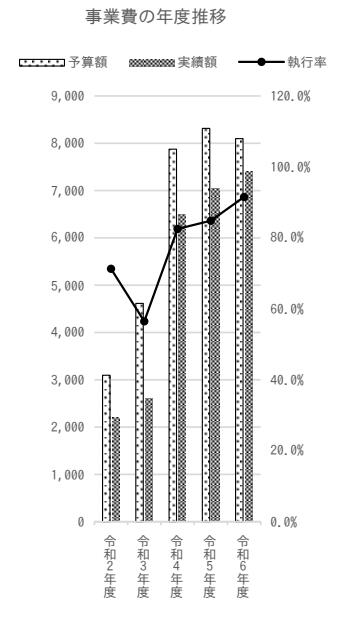
## 令和6年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	根拠法令等
区民、関係団体、民間団体	杉並区平和都市宣言
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○区民一人ひとりが、平和都市宣言の趣旨を理解し、戦争の悲惨さや平和の尊さに対する認識を深め、世界の恒久平和に寄与する。	○平和に関するパネル展示など、平和のつどいを実施する。 ○区内小中学校の児童・生徒を対象にした平和のためのポスターコンクールを実施する。 ○区内の中学生を広島に派遣し、平和について学び伝える平和学習中学生成派遣事業を実施する。 ○北朝鮮拉致問題に係る啓発を行う。 ○関係団体と協働で平和事業を実施するなど、平和意識の啓発を図る。

## 指標、総事業費 (Plan · Do)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	平和のつどい開催日数		日	15	15	27	15				
			計画	33	39	20	-				
			実績	220.0%	260.0%	74.1%	-				
			達成率								
	平和のためのポスターコンクール応募校数		校	25	25	25	25	25	25	25	25
			計画	25	25	25	25	25	25	25	25
			実績	25	28	24	-				
			達成率	100.0%	112.0%	96.0%	-				
	平和のつどいへの参加者数		人	1,000	1,000	1,250	1,000				
			計画	1,000	1,000	1,250	1,000				
			実績	1,650	1,800	800	-				
			達成率	165.0%	180.0%	64.0%	-				
	分類 行政サービス成果指標										
	平和のためのポスターコンクール応募者数		人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			計画	712	676	718	-				
			実績	71.2%	67.6%	71.8%	-				
			達成率								
	分類 行政サービス成果指標										

事業費	人件費	財源	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			千円	予算額	4,096	4,615	7,875	8,315	8,098	11,275
			千円	実績額	2,207	2,606	6,499	7,054	7,412	-
常勤職員分 (再任用含)	上記以外の職員		千円	執行率	71.3%	56.5%	82.5%	84.8%	91.5%	-
			千円	予算額	7,672	11,054	25,029	16,636	16,742	17,112
			千円	実績額	7,653	12,932	27,948	18,332	18,738	-
総事業費 (事業費+人件費)			千円	執行率	99.8%	117.0%	111.7%	110.2%	111.9%	-
			千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			千円	実績額	0	0	0	0	0	-
受益者負担分 ①	国・都からの補助金 ②	その他の補助金等 ③	千円	執行率	-	-	-	-	-	-
			千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			千円	実績額	0	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)			千円	執行率	-	-	-	-	-	-
			千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			千円	実績額	0	0	0	0	0	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)			千円	執行率	91.6%	99.2%	104.7%	101.7%	105.3%	-
			千円	予算額	10,768	15,669	32,904	24,951	24,840	28,387
			千円	実績額	9,860	15,538	34,447	25,386	26,150	-
			千円	執行率	91.6%	99.2%	104.7%	101.7%	105.3%	-



特記事項
------

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	平和のつどい（8月・3月）の開催	2	回	731
	平和のためのポスターコンクールの実施	1	回	864
	平和共催事業への補助	3	回	500
	平和首長会議（広島平和学習中学生派遣事業）	1	回	4,557
	その他（日本非核宣言自治体協議会分担金、北朝鮮拉致問題啓発ほか）			760
取組成果	8月の平和のつどいでは、原水爆禁止運動の絆となつた。杉並区の原水爆禁止署名運動から70年を迎えるため、運動の発端となったビキニ環礁での核実験、及び実験により被爆した第5福竜丸に関する内容をフォーラムし、当時の運動の軌跡を振り返ることで、その功績を記憶に刻み、次世代に繋げていくことを目的とした署名運動を紹介するパネル・資料展示を行いました。3月の平和のつどいでは、核兵器のない平和な世界を願い、戦争の悲惨さや平和の尊さをテーマに「写真パネル等の展示会とコンサート」を行いました。ポスターコンクールでは、24校718人の応募がありました。広島平和学習派遣事業では24人の派遣生が被爆地・広島での式典の参列や平和施設の見学、ヒロシマ青少年平和の集いへの参加など、精力的な活動を行いました。来年は戦後80年の節目の年となり、記念事業として、広島平和学習派遣事業に参加した中学生と区内在住の被爆者との対談映像の撮影をおこない、次回の8月の平和のつどいで公開できるよう準備を行いました。			

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	ウクライナやガザなどの紛争は収束する兆しが見えないことなどに加えて、アメリカはアメリカ第一主義が優先事項となり、世界情勢の先行きは、見えにくい状況が続いている。一方で戦後80年を迎える中、第二次世界大戦や被爆地での実相を伝える戦争経験者や被爆者の減少が進み、どのように貴重な証言を残していくかが、大きな課題になっています。こうした中、「語り継ぐこと」を中心とした事業展開は限界に近づいており、「語り継ぐこと」を担保しつつ、「平和をどう創っていくか」へシフトする必要性があります。従来の平和事業の内容を尊重しつつ、現在の世界の情勢を踏まえた平和事業の展開を検討します。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	8月2日から15日まで2週間、開催した杉並区戦後80年事業「ヒロシマ原爆・平和展」では、広島市との共催のもと、2日（土）のオープニングセレモニーを皮切りに、ロビーでの広島平和記念資料館所蔵の被爆資料の展示や原爆被災写真等のパネル等の掲示、核兵器禁止条約の早期締結を求める署名コーナー、2階ギャラリーでの折り紙コーナーなど述べ約4,500の方に来場いただきました。長崎平和学習中学生派遣事業は、24人の派遣生が、8月8日から10日の日程で被爆地・長崎を訪問し、長崎原爆資料館の見学や被爆者の証言講話、現地大学生とのワークショップなど被爆の実相を学びつつ、平和祈念式典に参列するなど、現地で精力的に活動しました。また、被爆者（杉並区在住）証言記録映像の編集作業を行い、8月に区民にお披露目をいたしました。3月に発表する、「すぎなみ平和マップ」は、戦争遺構などの調査やマップの活用についてすぎなみボイスを活用し、広く区民から意見募集を行っています。
事業の方向性・改善策	戦後80年を迎え、戦争経験者や被爆者が少なくなる中、次世代に戦争の悲惨さなどをどのように伝えるかが課題です。従来の平和事業を担保しつつ、「杉並区平和都市宣言」40周年である令和10年度に向けて、区内のご意見などを聞きながら、平和事業のあり方について、検討する予定です。

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	戦後80年を迎え、戦争の悲惨さなどを次世代に継承することが、喫緊の課題となっています。そのため、平和事業のあり方なども含め課題の解決に向けて、区内のご意見を踏まえながら、事業の内容のスクラップ・ビルトを検討していきます。また、戦後80年事業で作成する「被爆者（杉並区在住）証言記録映像」や「すぎなみ平和マップ」を活用して周知効果を高めますが、コストは拡充します。
II. 事業の改善の方向性	
II. 事業の改善の方向性の理由	

## 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	文化・芸術の振興						款 03	項 01	目 02	事業 001	整理番号	066
現担当課名	文化・交流課						係名	文化振興担当			連絡先	3782
上位施策No・施策名	27	多様な文化・芸術の振興と多文化共生・国内外交流の推進						電話番号	昨年度 整理番号			068
事業開始		実行計画事業	分野	08	施策	27	計画事業	02	01	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）	
令和6年度 担当課名	文化・交流課						事業評価区分	既定事業				

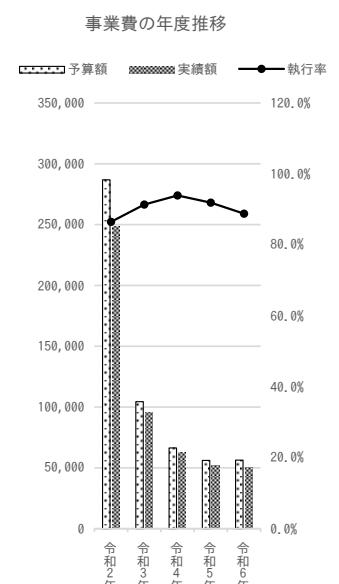
### 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 杉並区と日本フィルハーモニー交響楽団との相互協力に関する覚書 杉並区文化芸術活動助成金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）  ○区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発に行われている。 ○日本フィルハーモニー交響楽団友好提携事業、区民ギャラリーの活用（企画展や区民貸出し）等を中心とした文化・芸術事業を実施する。 ○区民や区内団体が行う文化・芸術活動について、助成金等を通して支援する。

### 指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の実施回数					回	計画	39	38	36
	文化芸術活動助成金事業件数				件	実績	38	37	37	-
						達成率	97.4%	97.4%	102.8%	-
	日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の参加者数				人	計画	50	25	35	40
成果指標	分類 行政サービス成果指標				件	実績	50	23	33	-
	文化芸術活動助成金事業の参加者数				人	達成率	100.0%	92.0%	94.3%	-
	分類 行政サービス成果指標				人	計画	9,700	8,960	8,960	9,200
					人	実績	9,244	9,467	12,004	-
					人	達成率	95.3%	105.7%	134.0%	-
	計画	30,000	37,500	45,000	55,000					
	実績	83,663	72,132	83,749	-					
	達成率	278.9%	192.4%	186.1%	-					

事業費	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	千円	予算額	286,821	104,425	66,379	56,138	56,370	59,510
		実績額	248,076	95,409	62,350	51,592	50,054	-
人件費	常勤職員分 (再任用含)	执行率	86.5%	91.4%	93.9%	91.9%	88.8%	-
		予算額	26,154	29,761	33,372	24,954	25,113	25,668
		実績額	31,291	33,706	35,851	20,174	25,668	-
上記以外の職員	千円	执行率	119.6%	113.3%	107.4%	80.8%	102.2%	-
		予算額	9,240	10,884	11,025	11,034	11,421	13,929
		実績額	10,884	11,025	11,034	11,421	13,929	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	执行率	117.8%	101.3%	100.1%	103.5%	122.0%	-
		予算額	322,215	145,070	110,776	92,126	92,904	99,107
		実績額	290,251	140,140	109,235	83,187	89,651	-
財源	受益者負担分 ①	执行率	90.1%	96.6%	98.6%	90.3%	96.5%	-
		予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
国・都からの補助金 ②	千円	执行率	-	-	-	-	-	-
		予算額	1,000	0	0	0	0	-
		実績額	157,110	7,000	18,000	0	-	-
その他の補助金等 ③	千円	执行率	15711.0%	-	-	-	-	-
		予算額	10,620	10,620	0	0	0	-
		実績額	1,203	1,253	0	0	-	-
特定財源 (①+②+③)	千円	执行率	11.3%	11.8%	-	-	-	-
		予算額	11,620	10,620	0	0	0	-
		実績額	158,313	8,253	18,000	0	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	执行率	1362.4%	77.7%	-	-	-	-
		予算額	310,595	134,450	110,776	92,126	92,904	99,107
		実績額	131,938	131,887	91,235	83,187	89,651	-
		执行率	42.5%	98.1%	82.4%	90.3%	96.5%	-



特記事項
文化・芸術情報紙の印刷について、契約の相手方との契約金額が予算額を下回ったため、執行率が90%未満となりました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	文化・芸術活動の支援の実施	33	件	10,633
	日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の実施	37	回	14,692
	杉並公会堂利用料の支出(延べ日数)	37	日	10,732
	スギナミ・ウェブ・ミュージアムの運営・発信			2,800
	その他（協働事業の実施、情報紙の発行ほか）			11,197
取組成果	文化・芸術活動支援事業では、区民や区内に拠点を持つ団体が行う多様で創造的な文化・芸術活動（25件）に「文化芸術活動助成金」を出し、活動を支援するとともに、区民が身近に文化・芸術に親しむ機会を創出しました。また、「若手アーティスト文化芸術活動助成金」を新設し、若手芸術家の活動（8件）を支援しました。 日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業では、区立施設における出張コンサート等を35回実施し計11,485人が鑑賞しました。また、友好提携30周年を記念しセシオン杉並で実施した子ども向けコンサート（2回）では、519人が鑑賞しました。 仮想美術館「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」では、常設展「杉並の芸術家展」に女子美術大学出身で洋画家の入江一子氏を加え、充実を図るとともに、「棟方志功」及び「鈴木信太郎」の作品を専門家の解説を交え鑑賞するオンラインツアーを開催し、115名が参加しました。一方、年間の閲覧者数は約98,000人で、令和5年に比べて約2万人減少しました。			

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	文化芸術活動助成金は、承認件数25件に対し68件の応募がありました。また、令和6年度より新たに開始した若手アーティスト活動助成金は、承認件数10件に対し29件の応募がありました。いずれも3倍に近い応募がきており、予算の範囲の中で、質の高い既存事業への支援と、新規事業への支援を、どう両立させていくかが課題となっています。加えて、助成対象事業が中止となった場合、その予算が未執行となり、必要な支援につながらないことが課題となっています。 また、仮想美術館「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」においては、閲覧数が伸びていないことから、魅力ある展示を企画していくことが課題となっています。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業である、杉並公会堂で行うオーケストラコンサートは、2公演が終わり、販売数は約90%と好評を得ています。 令和6年度から始めた若手アーティスト文化芸術活動助成は18件の応募があり、10件を承認しました。また、令和7年度は、文化芸術活動事業助成金の予算を増加（200万円）し、助成件数を増やすとともに、募集時期を2回（4月、10月）にすることで、事業者の申請の機会を増やしました。第1期は、45件の応募があり10件を承認しました。 スギナミ・ウェブ・ミュージアムの企画展として、小学校5年生から24歳までの若き芸術家たちの公募展「UNDER24 CREATOR EXHIBITION」を開催し、39件の応募がありました。専門家による講評会を実施し、10月から作品展示を行います。また、杉並名誉区民である「谷川俊太郎」氏の企画展を12月に実施するため、現在、協働事業者と共に準備を行っています。
事業の方向性・改善策	日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業は、区民が文化・芸術に身近に親しめるよう、引き続き、区内各地域での出張ロビーコンサートや福祉施設等への出張コンサートを実施していきます。 文化・芸術活動の助成事業は、募集要項や助成金額等の見直しについて、文化・芸術振興審議会にご意見を伺いながら制度の改善に取り組むとともに、申請者の利便性向上を図るため、申請手続きのデジタル化について検討していきます。 また、スギナミ・ウェブ・ミュージアムの運営事業は、区にゆかりのある芸術家を音や映像を交えて紹介するなどウェブの特性を活かした発展的かつ変化する展示を行い、閲覧者数の増加につなげていきます。

## 令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	各指標の達成率は概ね100%であり、また、予算の執行率も約90%であるため、現時点では、令和6年度予算と同規模の事業費等により、文化・芸術の振興を図っていく考えです。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	多文化共生・国内外交流の推進					款 03	項 01	目 02	事業 002	整理番号	067		
現担当課名	文化・交流課					係名	連絡先 電話番号		昨年度 整理番号	069			
上位施策No・施策名	27	多様な文化・芸術の振興と多文化共生・国内外交流の推進					予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成元年度	実行計画事業	分野	08	施策	27	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和6年度 担当課名	文化・交流課					事業評価区分	一般						

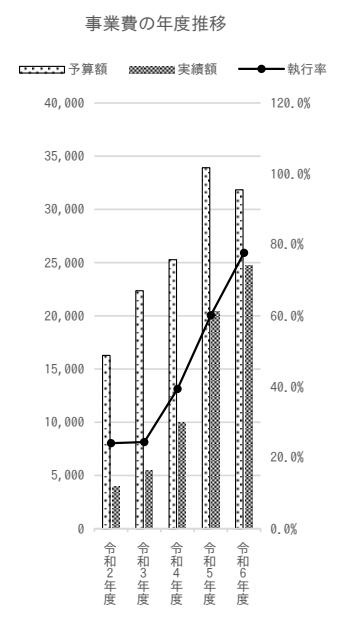
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 国内友好都市（名寄市・東吾妻町）との交流協定 国外友好都市（ウイロビー市・瑞草区）との交流協定
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）  ○国内外の交流自治体と教育・文化・スポーツ等の多様な分野を通じて交流の輪を広げる。 ○区民・市民同士の交流を進め、友好親善を深める。 ○多文化共生社会の実現に向け、相互理解を深める。

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	国際交流事業数	人	計画	15					
成果指標	国際交流事業参加者数	人	実績	12	12	18	22	-	-
			達成率	80.0%	120.0%	146.7%	-	-	-
			計画	20	20	80	90	100	-
分類 行政サービス成果指標	国内交流事業参加者数	人	実績	67	99	114	-	-	-
			達成率	335.0%	123.8%	126.7%	-	-	-
			計画	1,000	1,500	2,000	2,000	-	-
分類 行政サービス成果指標	国内交流事業参加者数	人	実績	1,221	2,434	2,116	-	-	-
			達成率	122.1%	162.3%	105.8%	-	-	-
			計画	3,000	3,000	3,000	3,100	-	-
分類 行政サービス成果指標	国内交流事業参加者数	人	実績	1,228	2,558	3,208	-	-	-
			達成率	40.9%	85.3%	106.9%	-	-	-

事業費	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		千円	予算額	22,358	25,272	33,917	31,841
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	実績額	5,459	9,957	20,396	24,759
			執行率	24.1%	24.4%	39.4%	60.1%
			予算額	27,898	21,258	20,858	20,795
上記以外の職員		千円	実績額	17,856	22,276	22,459	16,742
			執行率	64.0%	104.8%	107.7%	80.5%
			予算額	3,080	3,628	3,675	3,678
総事業費 (事業費+人件費)	千円	実績額	7,256	3,675	3,678	5,406	7,614
		執行率	235.6%	101.3%	100.1%	147.0%	122.0%
		予算額	47,262	47,244	49,805	58,390	64,568
財源	受益者負担分 ①	千円	実績額	0	0	0	0
			執行率	-	-	-	-
			予算額	0	0	0	0
国・都からの 補助金 ②		千円	実績額	0	0	0	0
			執行率	-	-	-	-
			予算額	0	0	0	0
その他の 補助金等 ③		千円	実績額	0	0	0	0
			執行率	-	-	-	-
			予算額	0	0	0	0
特定財源 (①+②+③)		千円	実績額	0	0	0	0
			執行率	-	-	-	-
			予算額	0	0	0	0
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)		千円	実績額	47,262	47,244	49,805	58,390
			執行率	61.4%	66.5%	72.5%	72.9%
			予算額	29,037	31,410	36,094	42,544
			実績額	0	0	0	0
			執行率	-	-	-	-
			予算額	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0
			執行率	-	-	-	-



特記事項
杉並区交流協会による都補助金・協賛金の獲得等により分担金の戻入があったため、予算執行率は低くなりました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
			事業	3,074
	国内外交流事業(杉並区交流協会共催分)	11	事業	8,074
	交流自治体情報紙「てくてく」の発行	2	回	3,207
	国内外交流自治体への代表訪問団等の派遣	11	自治体	2,371
	在住外国人支援事業(杉並区交流協会共催)	8	事業	7,154
	その他 ( 国内外交流事業ほか )			3,953
取組成果	国内外交流事業では、交流自治体の特産品等を販売する物産展(49回)や写真展(9回)の開催をはじめ、交流自治体の魅力を体験できる「忍野村援農ツアーア」など、計画(105回)を上回る136回の事業を実施しました。また、交流自治体を紹介する情報紙「てくてく」では、各交流自治体の飲食店を特集し、「食」の魅力を観光の促進や関係人口の増につなげていく取組を行いました。 多文化共生事業では、令和7年1月に「支援」と「共生」の面から取組を進める「杉並区多文化共生基本方針」を策定しました。策定に当たっては、区民向けアンケートやヒアリングを行うとともに、多文化共生推進懇談会を設置するなど幅広く区民の意見を聴取しました。また、多文化共生の推進に当たっては、杉並区交流協会等と連携し、区内在住の帰国・外国人児童生徒を対象とした子ども日本語教室(小学生25人、中学生25人)や、外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」講座(3回、105人)等を実施しました。			

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	国内交流事業(名寄市、東吾妻町、小千谷市、北塙原村、南相馬市、青梅市、武蔵野市、忍野村、南伊豆町、小笠原村)の参加者数は前年度比25%増の3,208人(達成率107%)でした。また、国際交流事業(オーストラリア連邦ウイロビー市、大韓民国ソウル特別市瑞草区、台湾台北市、ウズベキスタン共和国、ハキスタン共和国)の参加者数は前年度比13%減の2,116人(達成率106%)であり、合計5,324人(達成率106%)と、目標を上回る参加者がありました。交流自治体フォーラムのように交流自治体間で連携し対応していく課題と、交流自治体と個別に取り組んでいく課題があり、その課題の解決を通して、区民の生活に活力と潤いを与えるとともに、交流自治体との関係を深化していきます。 多文化共生の推進では、令和7年1月に策定した杉並区多文化共生基本方針に基づき、方針で掲げた13の取組を確実に実施していくことが課題です。また、各所管における取組状況や情報の共有を図っていくため、区内連絡会議を開催するとともに、多文化共生推進懇談会を開催し、多くの方に意見を伺いながら、多文化共生の推進に取り組んでいく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	国内交流事業では、交流自治体の観光物産展(43回)や写真展(6回)等を計画どおり実施しています。また、特別区全国連携プロジェクト関連事業助成金を活用した小千谷市(5・6月:○○参加)・北塙原村(6月:○○参加)の魅力発信ツアーを実施しました。国際交流事業では、ウイロビー市との友好都市35周年を記念して、5月にオンライン首長対談を行い、今後の交流について意見交換しました。また、7月からは瑞草区職員を受け入れ、区内高校との韓国連携事業や区公式SNSでの情報発信等を行っていく予定です。 多文化共生の推進では、13の取組のうち、①「人権と子どもの権利の擁護」②「やさしい日本語の普及・啓発」③「国内外の文化を相互理解する取組」⑨「地域人材の活躍の場の提供」⑩「地域コミュニティへの参加促進」を実施し、③⑩日本人と外国人で行つた山梨県バヌアツアーや、①③～「いろんな文化」を味わう、学ぶ、体験する～特別授業・Education Festa(大宮小学校で開催)、③⑨区長と留学生による多文化パネルディスカッション「外国人住民とともに多文化について考える」、②「やさしい日本語」の職員研修、③多文化共生ワークショップペトナム編を開催しました。
事業の方向性・改善策	国内外交流事業では、交流自治体等と、文化・スポーツ・教育などの多分野で連携事業を実施し、お互いに顔の見える関係を構築するとともに、互いが持つ地域の魅力を活用しながら共に発展していくことを目指します。また、令和8年度は、国内9自治体の首長が集い、地域課題などについて議論する「地方創生×関係人口・交流自治体シンポジウム(令和7年度開始)」のホスト自治体となるため、交流自治体との関係深化につながる会議等の準備を進めていきます。 多文化共生推進事業では、「杉並区多文化共生基本方針」に基づき、やさしい日本語の普及・啓発や外国人への生活講習会・行政情報の多言語化等の取組を進め、誰もが、安全・安心な生活を送ることができるよう、「支援」と「共生」の視点で多文化共生を推進していきます。

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	成果指標の国内外交流事業参加者数は、令和6年度達成率100%を超えており、事業費執行率は77.8%でした。事業執行率については、杉並区交流協会への在住外国人支援事業負担金の戻入額が、当協会による都補助金・協賛金獲得等により増加したことによる起因します。当分担金を除いた事業執行率は85.7%と良好であり、事業コストは現状維持が適切と考えます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
II. 事業の改善の方向性の理由	事業実施に当たっては、より高い成果が得られるよう、交流自治体や区内団体と都度協議・調整を重ねています。

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	杉並区交流協会助成						款 03	項 01	目 02	事業 003	整理番号	068
現担当課名	文化・交流課						係名	連絡先 電話番号		昨年度 整理番号	070	
上位施策No・施策名	27	多様な文化・芸術の振興と多文化共生・国内外交流の推進						予算事業区分		既定事業		
事業開始		実行計画事業	分野	08	施策	27	計画事業	03				
令和6年度 担当課名	文化・交流課						事業評価区分	一般				

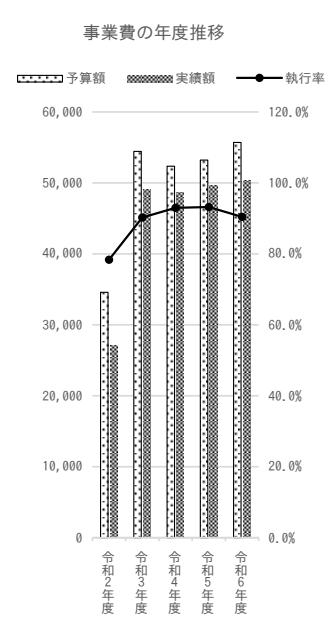
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
区民、交流団体	杉並区一般財団法人に対する助成に関する条例 杉並区一般財団法人に対する助成に関する条例施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○在住外国人の支援や異文化理解を通じて、多文化共生社会を構築する。 ○国内交流において、区民・市民同士の交流が活発に行われている。	○一般財団法人杉並区交流協会に対し、交流事業が円滑に行えるように補助金を交付する。

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度				令和5年度			
				計画	7	7	5	5	実績	7	7
多文化共生社会の相互理解向上事業回数	在住外国人支援事業回数		回	達成率	100.0%	100.0%	140.0%	-	計画	7	7
	在住外国人支援事業参加者数			実績	7	7	7	-	実績	4	3
	多文化共生社会の相互理解向上事業参加者数			達成率	80.0%	100.0%	133.3%	-	達成率	4	3
分類 行政サービス成果指標	在住外国人支援事業参加者数		人	計画	5	3	3	3	計画	700	800
	多文化共生社会の相互理解向上事業参加者数			実績	4	3	4	-	実績	765	1,030
	分類 行政サービス成果指標			達成率	80.0%	100.0%	133.3%	-	達成率	109.3%	128.8%
分類 行政サービス成果指標	在住外国人支援事業参加者数		人	計画	800	840	880	-	計画	109.3%	128.8%
	多文化共生社会の相互理解向上事業参加者数			実績	840	880	974	-	実績	128.8%	141.4%
	分類 行政サービス成果指標			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	達成率	128.8%	141.4%

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	事業費の年度推移				
								事業費	予算額	実績額	執行率	
人件費	千円	予算額	34,583	54,440	52,354	53,220	55,705	59,144	60,000	120.0%	80.0%	100.0%
		実績額	27,095	49,129	48,681	49,603	50,378	-	50,000	100.0%	70.0%	90.0%
		執行率	78.3%	90.2%	93.0%	93.2%	90.4%	-	40,000	80.0%	60.0%	80.0%
常勤職員分(再任用含)	千円	予算額	8,996	4,252	4,172	4,159	4,186	8,556	8,556	8,556	8,556	8,556
		実績額	10,110	4,172	4,159	4,186	8,556	-	8,556	8,556	8,556	8,556
		執行率	112.4%	98.1%	99.7%	100.6%	204.4%	-	10,000	120.0%	100.0%	120.0%
上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		執行率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	43,579	58,692	56,526	57,379	59,891	67,700	67,700	67,700	67,700	67,700
		実績額	37,205	53,301	52,840	53,789	58,934	-	58,934	58,934	58,934	58,934
		執行率	85.4%	90.8%	93.5%	93.7%	98.4%	-	90.8%	93.5%	98.4%	-
財源	千円	受益者負担分①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国・都からの補助金②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他の補助金等③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		執行率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	43,579	58,692	56,526	57,379	59,891	67,700	67,700	67,700	67,700	67,700
		実績額	37,205	53,301	52,840	53,789	58,934	-	58,934	58,934	58,934	-
		執行率	85.4%	90.8%	93.5%	93.7%	98.4%	-	90.8%	93.5%	98.4%	-



## 特記事項

特記事項
------

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	杉並区交流協会助成	1	件	50,378
	その他 ( )			0

取組成果	<p>助成の対象となる一般財団法人杉並区交流協会では、主に3つの事業を柱として、①在住外国人支援事業では子ども日本語教室や外国人サポートデスクの実施、②多文化共生社会の相互理解向上事業では日本語スピーチ大会や国際理解講座の開催、③国内外自治体交流の促進事業では高円寺阿波おどりを通した交流等に取り組みました。その結果、①在住外国人支援事業の参加者数は1,188人(達成率141%)となつた一方で、②多文化共生社会の相互理解向上事業では、台湾の歴史や文化を体験できるまるごと台湾フェアの参加者が計画より大幅に減少し、974人(達成率38%)となりました。</p> <p>また、ウクライナ避難民への支援では、緊急支援寄附金の募金活動(約77万円)を行い、集まった寄附金を活用して、避難に要した航空券の費用や日本語学習の費用などの支援(約53万円)に取り組みました。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>区内の在住外国人数は、令和7年5月1日現在23,679人(人口割合4.1%)と、前年度比で3,136人増加しています。今後も増加が見込まれる中で、杉並区交流協会においては、多文化共生の推進に向け、区が令和7年1月に策定した「杉並区多文化共生基本方針」で掲げる「やさしい日本」の普及・啓発、国内外の文化を相互理解する取組や日本語教育機会の確保などに取り組んでいく必要があります。</p> <p>また、多文化共生社会の相互理解向上事業の1事業である「まるごと台湾フェア」では、毎回異なる会場や区内イベントが多く行われる時期等により、参加者が大きく減少したため、事業スキームを見直していく必要があります。</p> <p>ウクライナ避難民への支援では、避難から3年が経過する中で、避難の直後の生活に関する相談から、就労に関する相談が増えてきており、避難者のニーズに添った支援を継続していく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	<p>在住外国人支援事業として、外国語サポートデスク(4~7月相談件数:443件)、消防署と連携して実施した防災体験(30人参加)、区内大学生へのやさしい日本語講座(38人参加)等を実施しました。また、子ども日本語教室は、小学生に対して週2回、区民ボランティアとともに実施し、25人が参加しています。国内外自治体交流促進事業においては、東京高円寺阿波おどり団を台湾(4月)、名寄市(6月)に派遣しました。8月には、高円寺阿波おどりに参加する交流自治体合同連を111人受け入れました。</p> <p>ウクライナ避難民支援では、区及び杉並区交流協会、NPO法人日本ウクライナ友好協会「KRAIANY」、交流自治体・北塩原村、村内の宿泊施設の5者が協力して、ウクライナ避難民を対象とした就業体験を実施しました(延べ16名参加)。</p>
事業の方向性・改善策	<p>区は、令和7年1月に支援と共生の2つの視点を持った多文化共生基本方針を策定しました。当方針の目標「すべての区民が人権を尊重し、互いの文化を認め合い、安心して暮らせる地域づくり」に向けて、子ども日本語教室や、「やさしい日本語」の普及・啓発など、当協会の事業の充実を図っていきます。特に、当方針の重点項目である「多文化共生拠点の整備」は喫緊の課題であるため、区と交流協会が連携して設置検討を進めながら、人員体制の拡充や事業内容の検討にも取り組んでいきます。</p> <p>また、ウクライナ避難民への支援については、開戦より3年が経過する中で、避難されている方のニーズにも変化があり、「就労」に関する相談が増えてきていることから、就業につながる取組を、都や交流自治体の力も借りながら進めています。</p>

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	その他
I. 事業コストの方向性の理由	成果指標の在住外国人支援事業参加者数は、令和6年度達成率100%を超ましたが、多文化共生社会の相互理解向上事業参加者数は、達成率37.5%に留まりました。これは「まるごと台湾フェア」の事業スキームによるもので、令和7年度はすぎなみフェスタと連携するなど改善を図っています。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
II. 事業の改善の方向性の理由	

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	杉並芸術会館の維持管理					款 03	項 01	目 03	事業 003	整理番号	071
現担当課名	文化・交流課					係名 文化振興担当	連絡先	3782	昨年度	073	整理番号
上位施策No・施策名	27	多様な文化・芸術の振興と多文化共生・国内外交流の推進					電話番号		既定事業		
事業開始	平成15年度	実行計画事業	分野	08	施策	27	計画事業	01			
令和6年度 担当課名	文化・交流課					事業評価区分	一般				

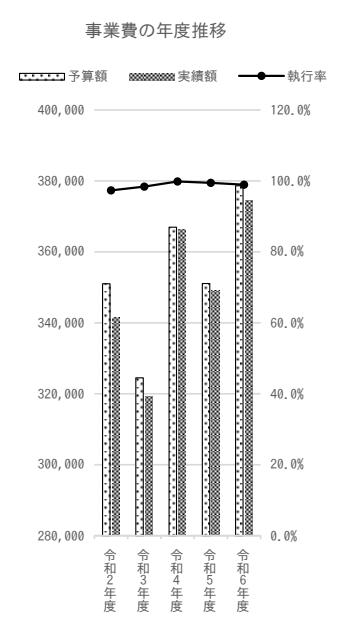
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
文化・芸術活動を行う区民及び関係団体等	杉並区立杉並芸術会館条例 杉並区立杉並芸術会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)
○演劇、舞踊等の舞台芸術の創造及び発信並びに区民の文化活動の拠点として芸術文化的振興を図る。 ○区民との協働により施設を運営し、地域のにぎわいの創出など、地域の振興を図る。	○協定に基づく指定管理業務を実施する。 ○芸術監督を設置し、芸術文化普及振興事業を計画・実施する。 ○運営懇談会にて、芸術文化普及振興事業や施設の運営管理についての評価意見を求める。

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
活動指標	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の貸出し回数=総利用数	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の貸出し回数=総利用数		回	計画	1,800	1,800	1,800		
					実績	1,482	1,537	1,612		
					達成率	82.3%	85.4%	89.6%		
成果指標	芸術文化普及振興事業の実施延べ回数	芸術文化普及振興事業の実施延べ回数		回	計画	400	450	460		
					実績	446	457	442		
					達成率	111.5%	101.6%	96.1%		
成果指標	ホール利用率	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の総利用数÷稼働可能数		%	計画	75	80	80		
					実績	76	78	81		
					達成率	101.3%	97.5%	101.3%		
分類 行政サービス成果指標	芸術文化普及振興事業への参加者数	公演事業の年間延べ観客動員数+教育的事業への年間延べ参加人数		人	計画	60,000	80,000	90,000		
					実績	77,000	101,000	105,269		
					達成率	128.3%	126.3%	117.0%		

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	351,007	324,495	366,958	351,080	378,627	379,815
		実績額	341,642	319,297	366,386	349,169	374,595	-
		執行率	97.3%	98.4%	99.8%	99.5%	98.9%	-
人件費	千円	予算額	13,077	12,755	16,686	16,636	16,742	17,112
		実績額	10,544	14,600	17,884	19,337	17,112	-
		執行率	80.6%	114.5%	107.2%	116.2%	102.2%	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	364,084	337,250	383,644	367,716	395,369	396,927
		実績額	352,186	333,897	384,270	368,506	391,707	-
		執行率	96.7%	99.0%	100.2%	100.2%	99.1%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	9	0	0	0	0	0
		実績額	7	0	0	0	0	-
		執行率	77.8%	-	-	-	-	-
国・都からの補助金 ②	千円	予算額	13,000	13,000	12,000	0	0	0
		実績額	10,967	8,056	16,045	0	0	-
		執行率	84.4%	62.0%	133.7%	-	-	-
その他の補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	13,009	13,000	12,000	0	0	0
		実績額	10,974	8,056	16,045	0	0	-
		執行率	84.4%	62.0%	133.7%	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	351,075	324,250	371,644	367,716	395,369	396,927
		実績額	341,212	325,841	368,225	368,506	391,707	-
		執行率	97.2%	100.5%	99.1%	100.2%	99.1%	-



特記事項

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	管理運営（指定管理者）	1	施設	334,482
	芸術監督報酬の支出	12	月	4,200
	運営懇談会開催	3	回	159
	施設管理	12	月	35,686
	その他（ 指定管理者選定委員会開催 )			68

取組成果	<p>指定管理業務における文化芸術普及振興事業では、芸術監督の監修のもと主催・提携・公募による計32公演を実施しました。加えて、区内小学生の演劇鑑賞教室（3,856名）やワークショップ（2,962名）、地域と連携し実施するフリーマーケット「座の市」等に取り組んだことで、来館者数は203,363人となり、令和5年度に比べ約4%増となりました。また、施設維持管理事業では、貸館として運用しているホール2と阿波おどりホールの利用率は81%と令和5年度を3%上回る結果となりました。</p> <p>両事業の実施に当たっては、区民や学識経験者等で構成される「運営に関する懇談会」や、地域の方が参加する「地域協議会」を開催し、地域の声を運営に反映するよう努めています。</p> <p>また、令和7年度で現指定管理期間が満了するため、新たな指定管理者選定に向けて、令和7年3月に選定委員会を設置しました。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>【来館者数】平成21年度(開館時)：215,780人 令和3年度：132,961人 令和4年度：177,212人 令和5年度：196,033人 令和6年度：203,363人 年平均(開館以降)：約186,500人</p> <p>杉並芸術会館は、平成21年5月の開館以来、舞台芸術の創造と発信及び地域に根差した文化活動の拠点として運営しており、高円寺4大祭りを中心に地域との連携を深め、まちのにぎわいや経済活性化にも寄与しています。</p> <p>一方で、地域協議会からは「公演プログラムが固定化している」との意見があがつておらず、時代の変化やニーズに対応した公演プログラムを実施していく必要があります。また、運営懇談会からは「経年劣化に伴う施設の老朽化」を心配する声があり、中規模修繕に向けた計画を立てていく必要があります。</p> <p>加えて、新たな指定管理者の選定に当たっては、杉並芸術会館が、区民の文化芸術の振興に寄与し、より地域に根付いた、開かれた劇場として運営されるよう、募集要項を作成していく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	<p>令和7年度末で、現事業者の指定管理期間が満了することに伴い、杉並芸術会館の将来のあり方を示した募集要項を作成し、選定委員会により次期指定管理者候補者を決定しました。区民の文化芸術の振興に寄与しより地域に根付き、開かれた劇場として運営されるよう、次期指定管理者と基本協定の締結に向けた準備を行います。</p> <p>また、開館から15年を経過し、施設の老朽化が懸念されることから、杉並芸術会館設計業者による施設の現状調査を行い、その結果に基づいた改修計画を作成します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和5年4月に定めた「杉並芸術会館の今後の運営の方向性」に基づき、優れた舞台芸術鑑賞の機会の提供や、多様な文化活動と交流が行える場の提供を通じて、身近な公共劇場としての役割を更に充実させていくよう、芸術監督及び指定管理者との連携・協力を強化していきます。</p> <p>また、令和10年度に予定している閉館を伴う中規模修繕を計画的に行っていく必要があるため、関係課と連携を図りながら準備を進めていきます。</p>

## 令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	成果指標であるホール利用率、芸術文化普及振興事業への参加者数の達成率は、いずれも100%を超えており、事業の執行率も99.1%と高いため、引き続き、芸術監督・指定管理者と協力・連携し、優れた舞台芸術の提供及び区民の文化活動の拠点として、公共劇場の役割を果たしながら、芸術文化の振興を図っていきます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	

## 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	杉並公会堂（PFI事業）					款 03	項 01	目 04	事業 001	整理番号	073
現担当課名	文化・交流課			係名	文化振興担当			連絡先	3782	昨年度 整理番号	075
上位施策No・施策名	27	多様な文化・芸術の振興と多文化共生・国内外交流の推進					予算事業区分	投資事業			
事業開始	平成18年度	実行計画事業	分野	08	施策	27	計画事業	01			
令和6年度 担当課名	文化・交流課					事業評価区分	施設維持管理				

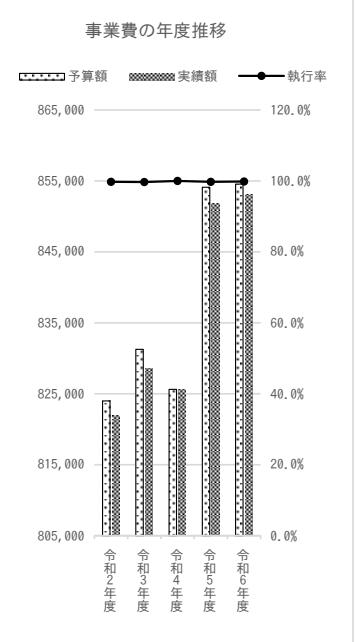
### 令和6年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約書
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）  ○区民への良質な文化芸術を鑑賞できる機会の提供などとともに、区民自らの文化・芸術活動を気軽に見える場とする。 ○公演など自主事業を行うほか、区民が気軽に利用できるように、ホテルやスタジオ等の貸し出し事業を実施する。

### 指標、総事業費（Plan・Do）

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	計画						
	実績						
成果指標	達成率						
	計画	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績						
分類	達成率						
	計画	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績						
分類	達成率						

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
事業費	千円	予算額	823,991	831,264	825,623	854,107	854,555	883,735		
		実績額	821,896	828,628	825,576	851,886	853,129	-		
		執行率	99.7%	99.7%	100.0%	99.7%	99.8%	-		
人件費	千円	予算額	4,359	8,503	8,343	8,318	8,371	8,556		
		実績額	8,928	8,677	8,983	4,353	8,556	-		
		執行率	204.8%	102.0%	107.7%	52.3%	102.2%	-		
上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	0		
		実績額	0	0	0	0	0	-		
		執行率	-	-	-	-	-	-		
総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額	828,350	839,767	833,966	862,425	862,926	892,291	
			実績額	830,824	837,305	834,559	856,239	861,685	-	
			執行率	100.3%	99.7%	100.1%	99.3%	99.9%	-	
財源	千円	受益者負担分 ①	予算額	0	0	0	0	0	-	
		国・都からの補助金 ②	予算額	0	0	0	0	0	-	
		その他の補助金等 ③	予算額	0	0	0	0	0	-	
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	0		
		実績額	634	0	0	0	-	-		
		執行率	-	-	-	-	-	-		
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	828,350	839,767	833,966	862,425	862,926	892,291		
		実績額	830,190	837,305	834,559	856,239	861,685	-		
		執行率	100.2%	99.7%	100.1%	99.3%	99.9%	-		



### 特記事項

特記事項
------

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設サービス購入	2	回	374,595
	維持管理・運営サービス購入	4	回	478,490
	その他（運営事業連絡会開催）		)	44

取組成果	杉並公会堂（PFI事業）では、大規模修繕に伴い長期休館（令和6年1月9日～8月31日）を実施しました。休館期間中は、PFI事業者から定期的に報告を受け、修繕の状況や進捗確認を行ったことで、修繕工事は計画どおりに終了し、9月1日から利用を再開することができました。再開後は、区と日本フィルハーモニー交響楽団、PFI事業者による実行委員会方式のコンサートをはじめ、自主公演等を23回行いました。また、休館期間を活用し、多くの利用者から要望が寄せられていた「オンラインによる施設予約」の導入を図り、区民サービスの向上にも努めました。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	大規模修繕工事に伴う休館の影響により、各施設の稼働率は一時的に低下しましたが、現在、大ホール、小ホール、グランサロンは休館前の利用状況に戻りました。一方で、スタジオの稼働率が休館前の水準に戻っていないため、利用者が増える取組を事業者と共に検討しています。また、利用者登録について、区民団体の要件を、「区内に所在がある団体」から、「区内を中心に活動する団体」までに対象を広げる見直しを行い、区民が幅広いジャンルの文化・芸術を鑑賞できる機会の提供につなげました。
事業の方向性・改善策	良質なプログラムを提供するとともに、区民等が利用しやすい施設環境を整えるよう、引き続き、事業者と協力して事業に取り組みます。また、人件費や物価が高騰している中で、PFI方式による施設運営や修繕が計画どおり行われるよう、景気動向や利用状況について事業者と情報共有を綿密に行い、連絡調整等に連携して取り組んでいきます。

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	区は、PFI事業を活用して約33年間（平成15年～令和18年）に渡り、PFI杉並公会堂株式会社と「杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約」を締結しています。PFI事業導入により、区が設計・運営・維持管理を直接行う場合に比べ、一括して特定事業者に委ねることで、現在のところ財政支出を抑制することができます。引き続きこの制度の安定的な運営を図っていきます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	